

# 交流通信

国内外との交流・多文化共生

## 田原市ボランティア養成講座を開催

7/28(土)、8/4(土)・11(土)の3日間で講座を開催しました。

### ●多文化共生の視点を取り入れて

7/28(土)、8/4(土)・11(土)の3日間、「外国人への日本語の教え方」や「日本語についての知識」を学び、ボランティア活動や外国人と接するとき役に立ててもらおうと開催しました。多文化共生の視点を取り入れた形では、田原市で初めての開催となりました。

※多文化共生とは、外国人も同じ地域の住民としてお互いに認め合い、一緒に地域づくりをしていこうというもの。

### ●日本語を教えるヒントがいっぱい

1日目。まず、参加者がペアを作って自己紹介をし合い、緊張をほぐしました。そして、NPO法人多文化共生リソースセンター東海代表理事・土井佳彦



▲自己紹介をする参加者

さんから「多文化共生 きほんの“き”」と題したお話が

ありました。その後、市内の日本語教室の



▲参加者同士で意見交換も行いました

代表の方から、教室の活動紹介がありました。

2日目と3日目は、「外国語としての日本語とその教え方」。田原市在住の日本語講師・小川美緒さんから、手作りの資料などを使って、外国人に日本語を教える方法を学びました。

参加者からは、「外国人の背景を知ることができた」「日本語を教えるときの参考になった」などの感想がありました。今後も、多文化共生についての講座などを企画していく予定です。

▶広報秘書課 ☎22局0138

- ④衰弱期…北上し、海面水温が低い日本付近に來ると、海面からの水蒸気が減少し、熱帯低気圧や温帯低気圧に変化
- ③最盛期…中心付近の風速は徐々に弱まるが、暴風の範囲は拡大
- ②発達期…暖かい海面から出る水蒸気をエネルギー源として発達。中心気圧はだんだん下がりが、中心付近の風速も急激に強くなる
- ①発生期…日本の南海上などで大量の水蒸気が上昇し発生

### ◆台風の一生涯

ます。



こんにちは、けんちゃんです。台風は、毎年のように日本に襲来し、さまざまな災害を引き起こしています。台風がよく接近するこの時期。今回は「台風」についてご紹介し

けんちゃん

台風

## 防災知恵袋

17

みんなできり組む防災・減災



期と衰弱期のものです。

### ◆台風による雨

台風は、積乱雲が周りを取り巻き、また、外側にも帯状の降雨帯があり、強い雨が降ります。暖かく湿った空気が南の海上から流れ込むため、日本付近に前線が停滞していると、活動を活発化させ、大雨になります。

### ◆台風による風

台風は、巨大な空気の渦巻きになっていて、地上付近では、反時計回りに強い風が吹きます。「台風」に入った場合、風は急に弱くなり、時には青空が見えることもあります。しかし、通過した後は反対向きの強い風が吹き返すので注意が必要です。

8月29日(水)、内閣府・中央防災会議が公表した南海トラフ地震の被害想定について、広報たはら10月1日号でお知らせします。

▼防災対策課 ☎23局3548